



『いちばんたいせつなことは、  
目に見えない』

主任司祭 岩下 和樹

クリスマスの前になると、毎年教会では募金活動が行われます。神学生時代、私も福岡の天神で、何人かの仲間とともに募金活動に参加したことがあります。その中で、全く知らない一般の方々から善意を頂くことの難しさを感じました。多くの人は、私たちの前を足早に過ぎていき、見向きもされずに、12月の寒空の下、身も心も寒くなっておりました。早く時間が過ぎるようお願い、家に帰りたい気持ちでいっぱいでした。

ある年の出来事ですが、それは私にとって忘れられない経験となりました。その日は小雪が舞う寒い日で、私たちは手をこすりながら、声を張り上げて募金を呼び掛けていました。すると、あるみずぼらしい身なりをした中年の男の人が、じつとこちらを見ているのに気づきました。

福岡には、ホームレスの方々がたくさんいるので、私は勝手に、その人もホームレスの方に違いないと思いましたが、少し気になりましたが、どうせすぐにいなくなるだろうと思っていました。

ところが、そのみずぼらしい格好の人は、私たちの方に近づいて来ました。「変な人がやって来た」と思い、私は身の危険を感じました。しかし、勇気を振り絞って、びくびくしながら「何か用ですか？」と口を開きかけた時、その人は何も言わず、募金箱に何かを入れるとすぐに立ち去って行きました。

私はごみを入れられたと思って、「悪質な嫌がらせをする人もいるもんだ」と怒りを覚えました。そして、募金箱の中をのぞいてびっくりしました。中には、ごみではなく、くしゃくしゃの1000円札が入っていました。



した。その時の驚きは今でも忘れることが出来ません。

『いちばんたいせつなことは、目に見えない』

童話『星の王子さま』に出てくる有名な言葉です。子供にでも分かるさりげない一言ですが、普段の生活の中では案外忘れられているような気がします。

表面的で、目に見えることばかりに気を取られてしまうと、その内面にあることが見えなくなってしまうということ(まさに私がそうであったように)。

それは人の心の中にある善意や思いやり、優しさという一番大切なことではないでしょうか？

『初めにことばがあった。ことばは神と共にあった。ことばは神であった』(ヨハネ1章1節)。

クリスマスの本質は「神が人となって私たちの間に来られた」その一点にあると言えます。

目に見えなかった神のみことばが肉となつて、目に見える形で私たちの間に現れました。しかし、暗闇は光を理解しませんでした。

「目に見えるものと見えないもの」の創り主である神は、その一人子イエス・キリストを世に送られました。世は彼を神の子と認めませんでした。彼が救い主であることが「見えなかった」のだと思います。世は彼を憎み、十字架につけて殺しました。

キリスト者の信仰は、この「十字架につけて殺された」ナザレのイエスを、救い主であると表明することだと思えます。

幼子の姿でこの世に生まれ、十字架上でご自分をお捧げになったイエスを通して、救い主がどのような方であるか、私たちの信じている神がどのような方であるか、が示されているのではないのでしょうか？

クリスマスを迎えるにあたり、このことを今一度思い起こしながら、私たちの内においで下さる神の一人子イエス・キリストとの出会いを新たに、神と共に歩んでいくことが出来ますように。



### 《ご結婚おめでとーごぞいます。》

6月8日

ミカエルH・JさんとN・Mさん



7月13日

ミカエルS・Sさんと

ベルナデッタT・Yさん

ヨハネ櫻井尚明神父様が司式に駆けつけて下さいました。

10月11日

M・TさんとセシリアM・Rさん。

新しいご家庭のために、皆様どうぞお祈り下さい。

「よろしくお祈いします。」

セシリアM・R

10月11日(金)糸島教会にて、岩下神父様・櫻井神父様・谷口神父様の司式で結婚式を挙げさせていただきました。



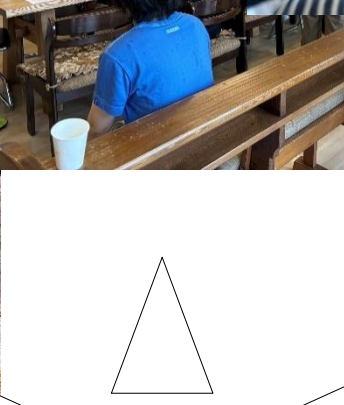
教会の方々に祝福、お祈りをしていただき幸せな式となりました。沢山の準備、片付けまで大変お世話になりました。

幼い頃から家族で毎週教会へ行き、日曜学校でお勉強やキャンプ、クリスマスなど：思い出がいっぱいです。学校とは違い、のびのびと過ごしていた記憶があります。ミサ中、聖書の言葉を聞いたり、静かに祈りすることができるようになり、お祈りの力を信じていることができるようになりました。

結婚後は福岡で仕事を続けながら、新しい生活をスタートします。

糸島教会の皆様、これからもよろしくお祈りいたします。





2024年  
こどものつどい  
先生方、協力  
頂いた皆様  
ありがとう



「初聖体おめでとう」

生涯養成・信仰教育委員会 U・Y

11月24日、4人の子ども達が初聖体を授かりました。

6月9日から当日まで、12回の勉強会を経て、正しい十字の切り方や主の祈り、聖母マリアの祈りも覚えることができました。

そんな中、ある保護者の方から「うちの子は、まだ良く分かっていないみたいですよ。見合わせての方がいいでしょうか。」と相談されました。

主の教えや神秘を理解することは、大人でも簡単なことではありません。

もしかしたら、人間には不可能な事かもしれませんが、子ども達は、疑問も含めて素直に受け止めます。「幼子のように、神の国を受け入れるものでなければ、けっしてそこに入ることはいできない」(マルコ10・14、ルカ18・17)と、イエス様は弟子達を諭されました。もしかしたら、イエス様が残してくださった秘跡に素直に与り、その恵みに満たされること、教えを理解することよりも大切なことなのかもしれません。相談されたその子も、ここやかにご聖体を頂きました。

イエス様と一つになって、きっと導かれていくことでしょう。

子ども達の感想と、保護者からのメッセージを紹介します。

はっせいたい  
ふりかえりシート



今日、やっとはっせいたいをうけられ  
てうれしかったです。

R君のお父さん  
O・Eさん  
初聖体はカトリック教会の重要な秘跡の一つです。  
息子が初聖体を受けることができ  
て嬉しく思います。  
神に感謝。



はっせいたい  
ふりかえりシート



ホスチアはちょっとおいしくなくて、  
にかい(少)です。菜息はこんな物  
を食べていると、いいことは  
なれているかと思いました。  
うれしかったです。



A君のお母さん  
H・Aさん  
蒼仁にはコロナ禍でなかなか教  
会に連れて行けず、教会学校や初  
聖体の勉強も出来ずにいました。  
今回、糸島教会では一緒に勉強  
をしてくれるお友達が3人もいて  
くださり、蒼仁には励まされなが  
ら、無事に初聖体のお恵みを頂く  
ことができました。  
皆様に感謝いたします。

はっせいたい  
ふりかえりシート



今日、はっせいたいのじやんびをして  
くれたたあつ人は、ありがとうござ  
いました。  
ポストアのおしほ、ダッホールおた  
いあてでした。



はっせいたい  
ふりかえりシート



今日初めてせいんをいたしたため、じやんびし  
てけした。しほ様やフッシー先生やリが先生  
たちがしんびしてくださってよかったです。ありが  
とうございました。



Pさん Jさんのお母さん  
H・Kさん

神様の巡り合わせとお計らいから  
糸島教会にて子どもたちが初聖体  
おミサに与ることができました。  
岩下神父様を選んでくださった  
(旧式の) 儀式は美しく主人も私も  
感謝しております。  
4名の子どもたち全員が平和の使  
いとなりますようにお祈りいたしま  
す。



みんな元気に  
大きくなってね～。



この日は  
七五三の祝福と  
プレゼントも  
ありました。

## 「敬老の日

おめでとつございます」

9月15日日曜日に、56名の信者の皆様の長寿を祝して敬老のお祝いが行われました。

岩下神父様から手渡されるお祝いの品を皆さんにこやかに受け取られました。

これからも益々お元気で、後進のご指導宜しくお願い致します。



## 「熊本巡礼

〜2匹のお供をつれて〜

カタリナ K・M

前日から台風14号の影響で、暴風大雨が予報されていて心配していたが、8時15分、無事出発することができた。

今回は5年ぶりの巡礼で、参加費三千元(弁当代込)で、U・Sさん、N・Dくんも参加していた。

9時過ぎ基山SAで15分間のトイレ休憩をとる。雨は小雨程度。

休憩の後、約20分間ロザリオの祈り(復活の神秘を1環唱えた)。

ところで、糸島から乗り込んだハエが2匹いて、うち1匹をYさんがパチンと叩いたが致命的ではなかった。通路側に座っていたHさんも足を出したが、届かず…

ハエに遊ばれているうちバスは10時45分 手取教会に到着。小雨の中櫻井神父様、笹丘の桑原神父様、熊本に単身赴任中のUパパが手を振って出迎えてくれた。運転手の寺崎さんが入り口までバスを乗り入れてくださった。

11時からの手取教会ミサは岩下神父様司式で行われ、手取の方と一緒に与る。お説教で岩下神父様は、

『神学生時代の霊的指導者は櫻井神父様であった。学生時代から支えてくださった。櫻井神父様は神学生60名のうち12〜13名を指導され、私たちは親父と呼んでいた。』

1学期に一度焼き肉に連れて行ってくださり、焼肉屋に行く前にうどんを食べてきてくれ、と言われていた。

温泉旅館に泊まったことがある。夕食前に事件が起きた。櫻井神父様が土瓶蒸しに松茸が

ないと言い出した。

山添神父様がご自分の松茸を差し上げた。その日全員が同じ部屋で就寝したが今度山添神父様が枕がない!と言い出した。櫻井神父様が隠していた。

最近昔のことをよく振り替えり、先輩司祭の気遣いに気づかされる。

いなくなつてから弟子はああしておけば良かった!と思う。

イエス様がいなくなつて弟子達が気づいたように。

また、何か起きたときに信仰の乏しさに気づかされる。』とお話しされた。

御ミサの後、信徒会館にて昼食を取った。手取教会の方がお茶を準備してくださり、その分豪華なお弁当をいただくことができた。

13時からの葬儀のため、櫻井神父様は12時30分に早々に私たちとの昼食を終え、その前に記念写真を撮った。櫻井神父様は、『はじめて主任司祭として赴任した糸島教会は思い出深く、いつも皆さんがどうしてるのかな?と思ひ出しています。』とお話された。櫻井神父様、私たちも同じ気持ちですよ。

恵楓園に向かう。

広い恵楓園の中、軽快にバスを誘導する若い人(?)は平田神父様だった。

恵楓園の奥にあるお御堂で、恵楓園の歴史、現状をお話くださった。

『毎週日曜日8時半から御ミサを捧げている。信者45名いた時もあるが、今は近隣の方で合わせて20名ほどでミサを捧げている。』

恵楓園では、必ず何かしらの宗教に入ら

なければいけない。  
多いときで120〜130人の信者がいたこともあったようだ。  
宗教は仏教、プロテスタント(聖公会)、とカトリックで、地震でお寺は崩れてしまった。福祉会館で、お寺とプロテスタントが行事を行っている。  
納骨堂もある。

教会はアメリカ人姉妹の献金により建てられ71年経つ。  
地震による修復は必要に応じて行った。当時は畳だったが、マッケイ神父様が土足で上がれるようにされた。

信者が多いときは、自分達で準備、朗読、奉仕をしたり、行政会という信者のグループがあつて修理を行ったり必要なものを買ったりしていた。』  
恵楓園の方にもお話しを伺った。『平均年齢87歳なので、今は市に依頼している。復活祭、クリスマスのお祝いもしている。昨年より再開している。

10年くらい前に待労院から来られた信者さんもいる。  
戦争のとき、また熊本地震のときマリアさまが守ってくださった。』

歴史館に移動し、見学。  
ビデオを10分見た後さまざま資料を見た。  
療養所というよりも収容所のようなだったこと。

特効薬がないために隔離政策が行われたこと。  
患者作業といって園内の仕事を入所者が行っていたこと。  
人と繋がりたいという思いから、文芸、出版、運動会が行われていたこと。

1941年に国立になった。

特効薬プロミンソが発見されてからも隔離が続き、1996年隔離廃止されたこと。15時過ぎ、平田神父様とお互いに『またね』と後ろ髪引かれながらお別れし帰路へ。16時3分基山S.A到着。  
皆さん手に一杯のお土産を買っていた。馬刺を買われた方も。

私は母とロッテリアのソフトクリームを食べた。あとからTさんとHさんも手にソフトクリームを持って来た。

16時27分基山S.Aを出発。雨が上がり、曇り空の中バスは糸島に向かう。大雨予報だったのに小雨程度ですんで本当に良かった。』

私は結構晴れ女だがもう一人強力な晴れ女、Tさんのおかげだろう。帰るバスの中、往路でお騒がせのハエ達は後部座席に移動したらしく後部の方達が騒いでいた。ハエ達も糸島出身なので糸島に帰りたいのだろう。だれにも退治されていなかった。16時半過ぎ、『後1時間で到着しますので、今日お世話してくださった櫻井神父様と平田神父様のためにロザリオを唱えましょ』とHさんが言われ、Hさん先唱でロザリオを1連唱えた。

バスを運転してくださいましたイトーキューのTさんは子供の頃田平教会の敷地で遊んでおられたそうで、今回の巡礼も身近に感じたそう。

広い恵楓園の中でできるだけ歩く距離が短くなるように最大限配慮してくださいました。本当に感謝。また私たちの集合写真も快く撮っ



てくださいました。おかげで楽しくしあわせな気持ちで一日過ごすことができました。予定どおり17時15分に糸島教会に到着し解散。5年ぶりの巡礼は無事終了した。

「10月27日

ふれあいガーデンパーティー」

H・A

10月27日ミサ終了後、糸島教会恒例の「ふれあいガーデンパーティー」を開催しました。

コロナ禍前は食バザーと芝生のグラウンドでミニ運動会を行っていましたが、コロナで3年間中止。昨年は、信者さんの出し物とビンゴゲームといった茶話会的なパーティーでした。

本年はバーベキューとビンゴゲームを企画。当日は天気が心配でしたが、皆さんのお祈りのおかげで雨もパーティー終了時まで持ちこたえてくれました。

岩下神父様のお話、食前の祈りに始まり、皆さん肉・野菜・マリア会の皆さんが握ってくれたおにぎりを食べお腹ごしらえを終えたころにビンゴゲームの開始(途中、山口神父様が茶山教会のミサ終了後に参加して頂きました。)

昨年も盛り上がりりましたが、本年はさらに景品をバージョンアップし(景品は、1番ビンゴ者には5キロの新米、他商品券・野菜のセット・お菓子のセット・カップ麺10食分など)非常に盛り上がったビンゴゲームでした。

最後に皆で「主は水辺にたつた」を歌い、パーティーの終了としました。



今年のおふれあいガーデンパーティは初めてのバーベキューで、80数名もの多くの人に参加して頂き、また留学生さんも喜んでくれました。美味しいバーベキューを食べ、楽しいひと時を皆で共有でき、素晴らしいふれあいの会だったように思います。この催しを準備・お手伝いして頂きましたマリア会・ヨゼフ会の皆さんありがとうございました。



## 「神学院ミサの」報告

女性の会担当 Y・K

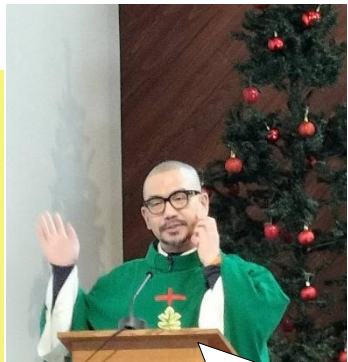
11月21日木曜日福岡神学院で『司祭の集い』が開かれるとのことで、その際のミサと講話に参加しませんか？とのお知らせを女性の会の副会長から頂きました。マリア会のグループLINEにお知らせしたところ都合の合う方がご参加いただきありがとうございます。



## 「申神父様の糸島訪問」

11月25日から29日の5日間、申神父さまが糸島教会に、ご滞在になりました。27・29日は朝ミサを司式くださり、27日はミサ後交流昼食会もひらかれました。お元気そうなお姿を拝見出来て皆大喜び。また来てくださいね。

した。竹内神父様にもお会いすることができ、神父様からは「みなさん元気で 頑張っておられると思います。いろいろな事があるかとは思いますが、何事も神様のみ旨のままになるように、みなさんの為に祈っています。」とのお言葉を頂きました。感謝の内に



一休さん Good!(髪型)



## 「福岡市民クリスマス」

T・I

戦後間もなく、キリスト教超教派活動として始まった「福岡市民クリスマス」が、今年七五回目を迎えた。今年九日福岡市民会館で開催されました。今年の講演は、大分の森山信三司教が行われました。聖

書にえがかれた救い主イエスの誕生物語をやさしく丁寧な語り、特にこの世に平和をもたらす方が、貧しい家畜小屋に、弱く無力な存在の象徴である「赤ん坊」としてお生まれになったことを強調され、その方がいまでも生きて働いておられることを、ある障がい者の方の母親の感謝の詩を通して語られたのが印象的でした。おわりに「今わたしたちが忘れてしまっている『沈黙』を少しでも取り戻して内面をみつめ、闇の中の光として語りかけてくる声に耳を傾けましょう」と結ばれた言葉の響きが、しばらく心の中に残りました。



講演の他には、西南大のチャペルクワイアの讚美、盲目のピアニストで歌手の北田康弘さんのピアノ演奏と独唱、そして未熟児網膜症として生まれ、その後の医療ミスで失明し、壮絶ないじめにあったあと音楽大学で出会った奥様と共に「讚美伝道」の道を歩み続けている、という証があり感動しました。

最後に、今年初めて結成された総勢百名前後の「福岡市民クリスマス聖歌隊」による、見事な讚美がなされ、会衆を交えた「きよしこの夜」で静かな喜びのうちに終わりました。